

英語科学習指導案

日 時 平成20年 7月 4日(金) 2校時
学 級 2年4組(男子20名 女子16名 計36名)
授業者 藤井 望

1 単元名(題材) Unit 3 Writing Plus 2 “E-Pals in Asia”(NEW HORIZON English Course 2)

2 単元について

(1) 生徒観

授業に対する姿勢は全体的に落ち着いている学級である。英語学習に集中して取り組んでいる生徒は多いが、発言は多い方ではない。内向的な生徒も多く、英語が苦手で自信を持ってない。そのため、英語の時間に限らず自己表現が苦手な生徒もおり、間違いを恐れず発言しようという雰囲気はまだ不十分である。英語を発話し、自己表現できる雰囲気作りに努め、互いに関わり合うことを大切に学習に取り組ませることが必要である。

また Warm up の単元での Show & Tell の際は、何を紹介するか決め兼ねている生徒も多く、日本語を英語にそのまま直そうとして悩んでいる生徒も多かった。このように表現したいことを見つけることができない生徒がいることから、表現したいと思う題材を提示することを第一段階、学習したものを使用して自己表現できるよう段階を踏ませることを第二段階とするなど、生徒に分かりやすく指導過程を示し、学習に臨ませたい。

ペアでの練習や活動においては積極的に取り組む生徒が多く、音読練習などはスムーズに行っている。このような点を生かし、ペア学習やグループ学習を取り入れ、お互いから学び合い、自分自身の学習を振り返らせたい。

(2) 教材観

本単元はコンピュータやインターネット、Eメール友達など生徒が興味を持ちやすい題材である。また、Reading for communication では日本の「マンガ」について取り上げられており、日本が世界の「マンガ」大国であることは知らない生徒も多いと思われる。このように自国の文化についても改めて触れた中で、今日本や、自分が夢中になっているもの、好きなものを紹介する文も作らせたい。また Unit3 の言語材料である「目的を表す副詞的用法」と「名詞的用法」の二種類の不定詞を使用し、自分のやりたいことや目的を書かせていきたい。Writing Plus では様々な表現を使用し、「書くこと」が指導事項の中心となる。「メール」という題材なので、実際のコミュニケーションの場面を作りたい。

パソコンについては技術・家庭科の授業で全員が使用しており、インターネットも大部分の生徒が使用したことがある。しかし、Eメールになると、35人中11人しか利用したことがない。メールについての様々な情報を持つてはいるが、実際に利用した経験は少ない。これからメール利用機会は増えてくると思われるので、メールの書き方について学習させていきたい。

(3) 指導観

「自分の思いや考えをみつめる」ために繰り返し練習させ、自分自身の課題に気づかせたい。またペアやグループで活動することで、相手からの反応によって自分自身をみつめることができると考える。そのため、ペアでの活動やグループでの活動を多く取り入れ、お互いの良さを分かり合えるようにさせたい。お互いの良い点を受け入れることで、更に自分自身に対しても変化を促すことができると思う。指導に当たっては、友人にメールを送るという設定で生徒の関心を高めたい。身近な話題について、自分自身のことと、相手への質問を書かせたい。また Unit3 で学習した既習事項を含むメールのモデルを読むことで、不定詞の復習も取り入れたい。「書く」ことではメールの一般的な書き方を学び、出だしの言葉や結びの言葉をしっかり書かせたい。

3 自分の思いや考えをみつめさせ、自分を変えていく学び方の構想

(1)「自分をみつめさせる」場のあり方

英語科において「自分をみつめる」ということには、様々な段階が考えられる。最初の段階は、単純な単語が読めるようになったとか、書けるようになった、聞き取れるようになった等の自分自身の知識や技能の変容に気づくという記憶や認知等の直接的な strategy のレベルである。次の段階は、自分の知識を使用し、相手にわかりやすく伝えることができるというコミュニケーションの段階である。更に、上の段階では、自分自身で学習目標や学習計画を設定することができ、自分の学習をきちんと評価するレベルになってくる。

本単元では、Eメールという設定で、自分の考えを相手に伝えたり、相手からの返信を読んだりしてお互いに伝えあう。それにより自分の考えを深め、様々な表現の仕方があることに気づいていくことであると考える。ペアで活動することで、お互いから学び合い、良い点に気づかせたい。

(2)「自分をみつめる」評価のあり方

1時間の学習の中で、新しく学んだことや分かったことなどをふりかえりとして書かせることで、自分自身のその日の学習をみつめることができる。自分の学習した内容をわかりやすく蓄積すること、分からなかったことを書き留めておくことも自分自身の学習過程をふりかえり、次につなげることになる。そして教師が学習シートをチェックして返却することで、単元で学んだことを振り返らせたい。

自己評価に加えて、教師や他の学習者からの評価も自分の学習状況を確認するためには欠かせないものである。必要な場面では他者からの適切な表現を授業の中に取り組み入れていく必要がある。学習内容についてだけではなく、不安を軽くしたり、勇気づけたりするなどの情意的な言葉のやりとりも、英語学習においてはとても効果があるということを生徒にも意識付けていきたい。

4 単元の評価規準と指導の重点

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化の知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 不定詞を用いた文を使って、すすんで発表したり、話したりしようとする。 自分の興味ある話題を見つけ、そのことについて、英語を使って表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞を用いた文を使って話したり、書いたりすることができる。 既習文型やモデルの例文を使い、自分のことを相手に伝える英文を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞を用いた文を読んだり、聞いたりして、その意味を理解することができる。 メールの内容を把握することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞を用いた英文を作ることができる。 メールでよく使われる決まり文句を使うことができる。

5 指導計画 (Unit 3 7時間扱い)

Starting Out	… 1時間
Dialog	… 1時間
Reading for communication	… 2時間
Listening Plus 3	… 0.5時間
Writing Plus 2 (メールについて)	… 0.5時間
Writing Plus 2 (メールを書く)	… 1時間 (本時)
Multi Plus 1	… 1時間

6 本時について

(1) 目標

- ・友達に身近な話題で、英語のメールを書くことができる。
- ・友達からのメールに短い返信を出すことができる。

(2) 指導の構想

送られてきたEメールを見せ、今日の課題を把握させる。そしてEメールのモデルを複数提示し、メールの書き方を理解させる。生徒が使用可能な既習表現を多く提示することで、自分自身のメールをどのように書いたらいいか、考えやすくなると考える。その際、ペアで内容把握をし、個人で行うときよりも多くの英文を把握させることで、その後の自己表現で活用させたい。身近な話題を書くことで、自分自身や友人のことなどを見つめさせたい。既習文型を十分に活用させることを重点にするが、使われると予想される語句は与えていきたい。

研究とのかかわりからは、自分のメールをペアやりとりすることで、自分の英文を見直したり相手の良いところを見つけたりすることができると思う。自分以外の人を書いた英文に触れることで、自分の考えを深めさせたい。またモデルのメールを読ませ、大まかな内容を自分なりにまとめさせたい。振り返りの部分では、授業のまとめや感想を記述させ、理解したことや自分の頑張りを感じさせたい。

(3) 具体的評価規準

	おおむね満足できると判断できる状況(B)	十分満足できると判断されるキーワード(A)	努力を要する生徒への支援の手だての例	評価の方法
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・ 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	・ 積極的 ・ 自分なりの考え ・ 情報の豊かさ	・ 必要な英文・語句を提示する。	・ 学習シートへの記述状況 ・ 発言の記録(行動観察)
表現の能力	・ 相手に伝わるように英文を書いている。	・ 自分なりの考え ・ 既習文型の使用	・ 例文を選択させる。	・ 学習シートへの記述状況(机間観察)
理解の能力	・ メールを読んで必要な内容を理解している。	・ 正確さ	・ キーワードに注目させる。	・ 学習シートへの記述状況(机間観察)
言語や文化の知識・理解	・ Eメールの書き方や、有用性、決まりを理解している。	・ 独特な表現	・ 教科書で確認させる。	・ 学習シートへの記述状況

(4) 展開

学習過程	学習内容と学習活動	教師の指導・支援	研究に関わる留意点・備考
1 課題作り 2 課題を設定する (7分)	1 ペアでQ&Aのやりとりをする。 2 Eメールの内容を理解する	1 ペアでQ&Aのやりとりを行わせる。 2 Eメールを見せ、課題を理解させる。 学習課題を提示する。	・ ペア活動
	友達と英語でメールをやりとりしよう！		
3 自分をみつめる 4 交流する 5 考えを構築する 6 課題を追究する (33分)	3 メールモデルを読み取る。 ・ 内容を個人で確認する 4 メールを読み取った内容をペアで確認する。 ・ 音読する 5 自分の考えを表現する。 ・ 例文を音読する ・ 例文を参考に友人に出すメールを各自考える ・ 自分のメールをペアでチェックしあう 6 教科書や例文を参考に、相手からのメールに返事を書く。 ・ 相手からの質問に答える。 ・ 相手から返事をもらい、読む。	3 メールモデルを提示する ・ 内容を確認させる 4 メール内容をペアで確認させる。 ・ 音読させる 5 メールを書かせる。 ・ 例文を確認させる ・ メール書き方を確認し、考えさせる ・ ペアでチェックさせる 6 教科書や例文を参考に、相手からのメールに返事を書かせる。 ・ 返事を返却させ、読ませる	・ 学習シート ・ 理解の能力 ・ ペア活動 ・ 関心意欲態度 ・ 言語や文化の知識理解 ・ 表現の能力 ・ ペア活動 ・ ペア活動
7 まとめ・振り返る (10分)	7 お互いのメールを読み、紹介しあう。 ・ 相手からの返事を読み、わかった情報をまとめる。 ・ 今日の授業でわかったこと、分からなかったこと、感想などを記述する	7 メールを全体に紹介し、お互いの学習を共有させる。 ・ 自分に来たメールを発表させる。 ・ 感想を書かせ、発表させる。	自分の学習をみつめると共に、他者からも学ぶ。 ・ 関心意欲態度